



「健やか生活応援講座」を開催しました。

平成30年2月3日（土）、「ロコモティブシンドローム予防講座 ―健康で長生きするために―」をテーマに、今年度第2回目の「健やか生活応援講座」を開催し、38名の参加がありました。

「ロコモティブシンドローム」は筋肉や骨の身体を動かす仕組み（運動器）が衰えた状態のことをいいます。「ロコモティブシンドローム」が進行すると要介護や寝たきりの状態になるリスクが高くなるといわれており、若い頃から、適度な運動や活動で筋肉や骨に適度な刺激を与え、適切な栄養を摂ることが大切です。

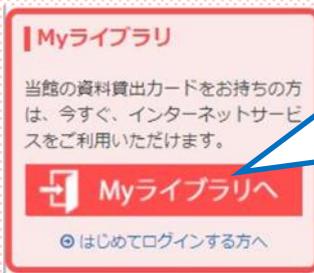
今回の講座では、日本健康運動指導士会香川県支部長の片山昭彦さんと香川県健康福祉部健康福祉総務課の青野主任を講師に迎えました。まず、青野主任から「ロコモに関する基礎知識」に関する講義があり、「いつまで日常生活に支障のない状態でいられるか」という健康寿命が男女とも全国平均を大きく下回っている香川県の現状が報告されました。続いて、片山先生から手軽に取り組み始めるロコモ予防のための運動を教えていただき、参加者みんな楽しく体を動かしロコモについて学びました。

●香川県立図書館ホームページの新しい機能を紹介します！

～My本棚～

「My本棚」は、昨年12月5日から使えるようになった新しい機能です。例えば、「これから読みたい本」や「特定の作家の本」など、自分で好きなテーマを設定してMyライブラリ内に仮想の本棚を作り、資料情報を登録してブックリストを作成できます。「本棚」は10件まで作ることができ、1つの本棚に100件までの資料が登録できます。

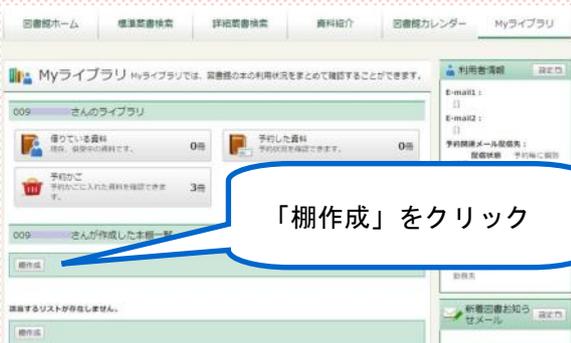
1. Myライブラリにログイン



トップページ左上の「Myライブラリ」のアイコンをクリックしてログインしてください。

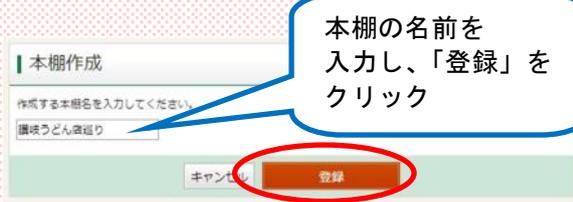
2. 本棚を作る

(1) Myライブラリ画面



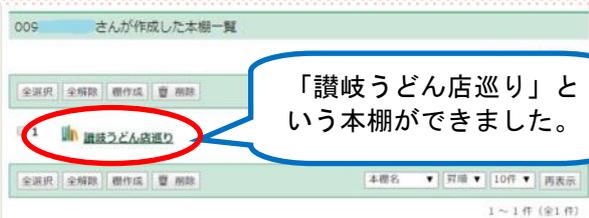
「棚作成」をクリック

(2) 本棚作成画面



本棚の名前を入力し、「登録」をクリック

(3) 本棚一覧画面



「讃岐うどん店巡り」という本棚ができました。

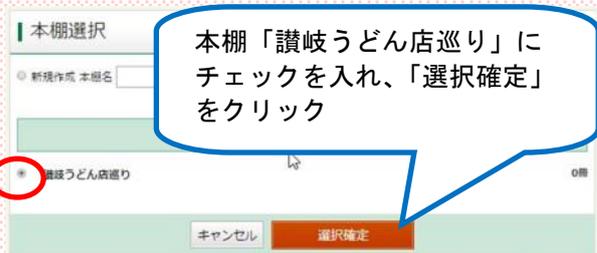
3. 検索結果から本棚に入れる本を選ぶ



本棚に登録したい1番と2番の本にチェックを入れ、最後に「本棚へ」ボタンをクリック

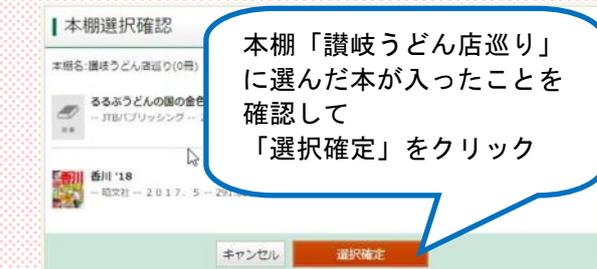
4. 本棚を選択して本を入れる

(1) 本棚選択画面



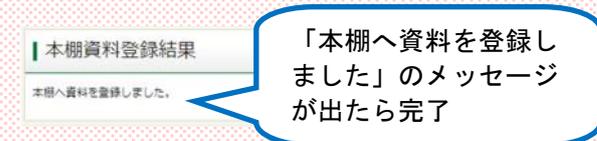
本棚「讃岐うどん店巡り」にチェックを入れ、「選択確定」をクリック

(2) 本棚選択確認画面



本棚「讃岐うどん店巡り」に選んだ本が入ったことを確認して「選択確定」をクリック

(3) 本棚資料登録結果画面



「本棚へ資料を登録しました」のメッセージが出たら完了

★くわしくは当館ホームページの次の情報をご覧ください。

・My本棚の使い方 <https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/mylib/mybookuse>

この本オススメです！

～瀬戸大橋開通30周年！～

瀬戸大橋は、平成30年4月10日に開通30周年を迎えます。本州四国連絡橋の中で唯一の道路・鉄道併用橋として、着工から9年6か月の工期を経て、昭和63年4月10日に開通しました。

展示コーナーでは「瀬戸大橋開通30周年～資料で見る瀬戸大橋～」を4月15日まで開催しています。

今回は、瀬戸大橋開通30周年にあわせて、瀬戸大橋や世界の橋に関する本を紹介します。



『瀬戸大橋架橋史 通史・資料編, 写真篇』

瀬戸大橋架橋史編さん委員会／編

(瀬戸大橋架橋推進香川県協議会) 1989.4

(請求記号: K6840 / S5 / 8-1・2)

瀬戸大橋の着工は昭和53年ですが、着工に至るまでの長い歴史から、昭和63年4月の開通式までの詳細を記録したものです。

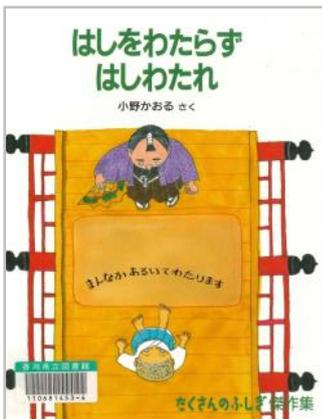
さまざまな報告書の概要なども盛り込まれていますが、現場で働いた人しか見ることのできないような工事の写真もあり、専門知識がなくても通読でき、瀬戸大橋を完成させるための大勢の人の苦労と努力を知ることができます。



『死ぬまでに見たい! 絶景の橋』

(エクснаレッジ) 2015.6 (請求記号: 5150 / X1)

白い表紙とは裏腹に、全ページカラーで世界中の橋を紹介しています。大自然の橋、現代の橋、古典の橋などに分けて紹介していますが、いつの時代のどの橋にも思わず感嘆の声があがります。行ってみたい、渡ってみたい気持ちにさせてくれます。日本では渡月橋(京都府)や錦帯橋(山口県)などが紹介されています。



『はしをわたらずはしわたれ』

小野かおる／さく (福音館書店) 1998.9

(請求記号: 510 / 03 / 2)

このタイトルをきいて、一休さんのとんちを思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。この本は、橋の歴史や種類、しくみなどを絵と文でわかりやすく紹介した児童書です。もちろん、「橋の出てる話」のひとつとして、一休さんも紹介されています。

こなんしよるでー⑦

～施設見学・体験学習～

Q: 県立図書館の中は見学できるのかな。カウンターに学生が入るとときがあるけど、あれはなんでな？

A: 図書館では、学生が図書館の業務を体験する職場体験学習(インターンシップ)の受入れをしています。また、施設や業務内容を知ってもらうため、学校などの団体を対象とした、見学・視察の受入れを行っています。

【職場体験学習】

学生が、実際に職場を体験することを通じて、自らの進路について考え、正しい職業観を身につけることを目的に、主に授業の一環として各学校で実施されています。

図書館では、近隣の学校からの申し込みを受けた後、日程等を調整したうえで学生の受入れを行っています。実際に学生が体験する主な業務内容としては、次のようなものがあります。

- ①概要説明（施設・設備、役割、職員の仕事）
- ②施設見学（閲覧室、書庫）
- ③カウンター業務（貸出、返却）
- ④書架整理（排列修正、返却資料の配架）
- ⑤資料整理（新聞の切り抜き、ラベル貼り）
- ⑥書庫整理（資料の移動、資料の箱詰め） など



学生の業務体験中は、不慣れなために通常より時間がかかるなど、ご迷惑をおかけすることもあります。ご協力をお願いいたします。

【施設見学】

県立図書館の施設や利用方法などについて知っていただくため、館内の見学を受け入れています。滞在時間や人数により、内容は相談に応じています。

施設見学の例：職員による案内・説明

閲覧室、書庫の見学

読み聞かせ（小学生までの児童対象） など

毎年、多くの小学校や幼稚園などから見学にいられています。職員の案内・説明が不要でも、大人数での来館は事前に申請が必要です。

詳しくは当館ホームページの「利用案内」または「子どもの読書応援ページ」をご覧ください。

きまもり

学校で使える本をお届けする 学校支援文庫「木守文庫」(中学校版)ができました！

県立図書館では、公益財団法人松平公益会から助成を受け、小学校などで学習活動や読書活動を支援する「木守文庫」を整備してきました。

昨年10月には、新たに中学校向けのセットを整備し、貸出を開始しました。修学旅行の事前・事後学習に役立つセットや自由研究の本、オリンピックについて学ぶセットなどがあります。

「木守文庫」の詳細については、県立図書館HP「子どもの読書応援ページ」をご覧ください。

子どもの読書応援ページ



編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19 (香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>